

# 国指定史跡 空から甲府城 を見てみよう


**1** てんしゅだい  
天守台

築城時（約420年前）の野面積み石垣が良好に現存する。  
天守台からは、富士山をはじめ、県内の山々を望むことができる。



**9** こうふじょういしがきてんじつ  
甲府城石垣展示室

山梨県庁防災新館地下1階にある展示室。防災新館を建てる際の発掘調査で見つかった石垣を移設して展示している。  
野面積み石垣や、石垣を支えるための胴木を見ることができる。



**2** えんしょうぐらあと  
煙硝蔵跡

火薬庫ながら、平屋に地下式構造をもつ全国的にも珍しい建物で、特殊な防湿・雨水対策が施されていた。  
現在は、埋設保存されている。




**3** いなりやぐら  
稲荷櫓



寛文年間に建てられた二代目の櫓を平成16年（2004）に復元した。中では甲府城に関する解説や、発掘品が展示されている。鬼門の方角（北東）に位置している。



**4** いなりくるわいしがき  
稲荷曲輪石垣

築城時（約420年前）の石垣が良く残る。北側の石垣は幅約100m、東側の石垣は高さ約17mを誇る東日本有数の石垣である。




凡例  
 国指定史跡の範囲  
 元々の甲府城の範囲


**6** こうふじょうあたごやまいしきりばあと  
甲府城愛宕山石切場跡

甲府城の北東にある、愛宕山の山麓に位置している。  
江戸時代の古文書や絵図に「石取場」として記されてる。現在は非公開。



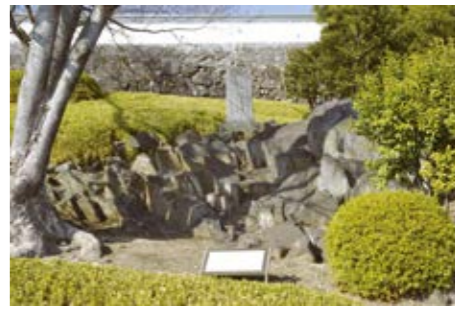
**8** くらがねもん  
鉄門

本丸の南側にある櫓門。もともとは南門と呼ばれていたが、宝永2年（1705）に当時の城主である柳沢吉保が実施した建物などの名称変更により、鉄門と呼ばれるようになった。  
現在の門は平成25年（2013）に復元された。



**7** じょうないのいしきりば  
城内の石切場

甲府城は元々、一条小山と呼ばれる独立丘陵であり、石垣用の石材を城内で入手することができた。  
鍛冶曲輪には、いまでもその痕跡が残されている。



## 甲府城跡 国史跡指定記念イベント

展示会名	期間	場所
山梨の遺跡発掘展2019	H31.3.9(土)~4.7(日)	考古博物館多目的室
祝 国史跡指定 「出土品が語る甲府城」	H31.3.2(土)~4.7(日)	考古博物館 エントランスホール
甲府城跡国指定展示	H31.2.27(水) ~5.13.(月)	考古博物館常設展
甲府城跡鉄門企画展	H31.4.5(金)~14(日)	国史跡甲府城跡鉄門
甲府城跡稲荷櫓・鉄門常設展	H31.4.5(金) ~H32.3.31(月)	国史跡甲府城跡稲荷櫓

講演会名	日時	場所
信玄公祭り甲州寺子屋		
第1部 「絵図に見る甲府城の移り変わり -築城から廃城まで-」 講演者:埋蔵文化財センター 今福利恵	4.7.(日) 10時30分~12時	恩賜林記念館 大会議室 (国史跡甲府城跡内)
第2部 「甲府城を守る武士と甲府の町」 講演者:県立博物館中野賢治	4.7.(日) 13時30分~15時	